

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-50123

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)3月28日

B 65 G 17/20

D-6662-3F

B 61 B 10/02

H-6578-3D

B 65 G 9/00

7816-3F

E 04 H 5/06

7606-2E

審査請求 未請求 (全3頁)

⑮ 考案の名称 車輪付き車両の吊り上げ搬送装置

⑯ 実 願 昭60-141217

⑰ 出 願 昭60(1985)9月13日

⑱ 考 案 者 鈴木 洋 刈谷市一里山町金山100番地 トヨタ車体株式会社内

⑲ 考 案 者 藤井 陽一 刈谷市一里山町金山100番地 トヨタ車体株式会社内

⑳ 考 案 者 柴田 一吉 刈谷市一里山町金山100番地 トヨタ車体株式会社内

㉑ 出 願 人 トヨタ車体株式会社 刈谷市一里山町金山100番地

㉒ 実用新案登録請求の範囲

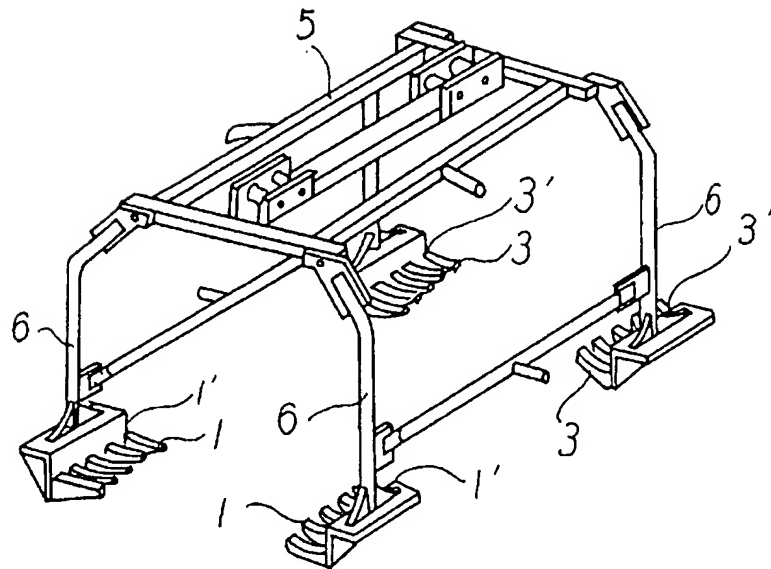
車輪付き車両の垂直吊り上げ搬送装置において、車両ボデーの外側より前記車両の車輪の接地軌跡の間隔を保ち、かつ、前後ホイールベースの間隔を確保し懸垂するヨークを有するハンガーと、このハンガーのヨーク先端にて櫛刃形状に配設したフォーク受け板と、このフォーク受け板の略全部を受け入れるべく床面に穿設したビット内にあつて、このビット底面より同じく櫛刃形状に垂直に植設した車輪のスリット支持板とからなり、前記ハンガーを垂直に下降させた時、前記ビット内のスリット支持板とヨーク先端の櫛刃形状のフォーク受け板の一部とが干渉しないように構成したことを特徴とする車輪付き車両の吊り上げ搬送装置。

図面の簡単な説明

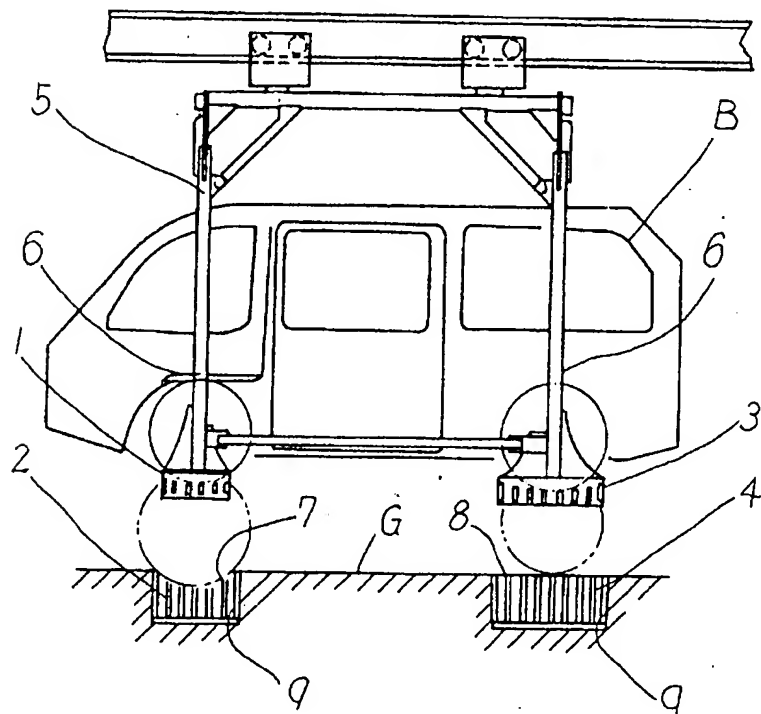
図面はこの考案の一実施例を示すもので、第1図はこの考案の車輪付き車両の吊り上げ搬送装置の全体斜視図、第2図は同装置の側面図、第3図は同装置の全体正面図、第4図は同装置でのヨーク先端が嵌入した状態の全体正面図である。

1……前輪側フォーク受け板、1'……前輪側フォーク、2……前輪側車輪受けスリット支持板、3……後輪側フォーク受け板、3'……後輪側フォーク、4……後輪側車輪受けスリット支持板、5……ハンガー、6……ヨーク、7……R形状踏み面、8……平面状車輪受けスリット、9……ビット、B……搬送用車両のボデー本体、G……床面。

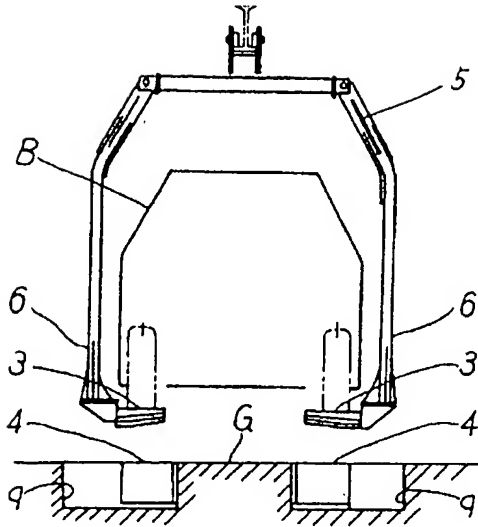
第 1 図



第 2 図



第 3 図



第 4 図

